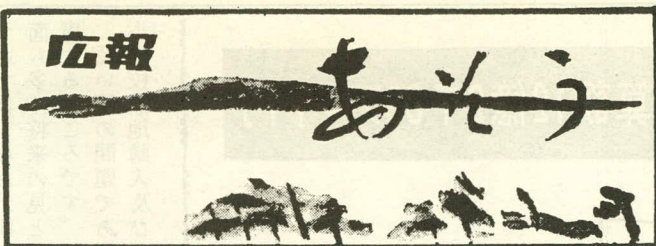


4月15日
No. 232

〈人口〉
男 8,986人
女 9,284人
計 18,270人
世帯数 4,040戸

広報



所 人 所
行 行 所
発 発 印

麻生町1561-9
電話②0811(代)

麻 生 町 役 場
小 沼 幸 蔵
麻 生 幸 蔵

4月のメモ

- 1日 臨時町議会
- 2日 選挙管理委員会
- 2・3日 霞ヶ浦清掃大作戦
ゴミ集め
- 5日 病害虫防除協議会
- 8・10日 婦人ガン検診
- 10日 町議会
- 10・11日 乳児検診
- 11・12日 納税組合長会議
- 13日 子供会総会
- 15日 民生協議会総会
- 15・17日 大和共同飼育所竣工式
農薬空中散布
- 20日 フラワーロード推進協
議会
- 21日 鹿行身障者スポーツ大
会
- 22日 区長会総会
- 25日 消防役員会、青年学級
開級式
- 30日 軽自動車税徴収

霞ヶ浦清掃

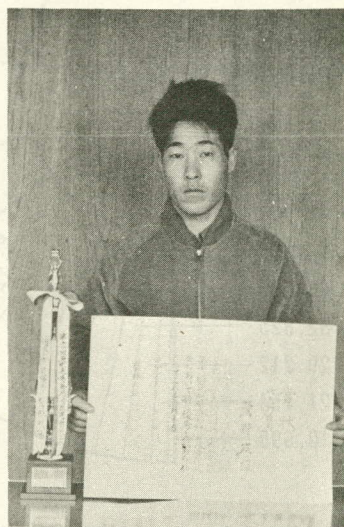
成果あがる



よしを燃やして沿岸をきれいにする。足元がきれいになれば
ゴミを捨てる人もいなくなるだろう。〈3.13 橋門にて〉

鷺野さんに

農林大臣賞



農林大臣賞を手にする鷺野さん

霞ヶ浦の清掃は、まず漁民
が三月十三日に、三月二十四
日には全住民が参加してこの
なわれ、沿岸・流入河川など
がだいぶきれいになりました。
ご協力いただいたみなさんに
お礼を申し上げます。
これは、ひどくよごれてき
これによって、霞ヶ浦・北

茨城県蚕糸業連盟主催に
よる第十一回養蚕経営改善競
技会が、三月二日、水戸農協
会館において開催され、麻生
町から参加した鷺野政雄さん
(大字行方)は、個人の部で
農林大臣賞、茨城県知事賞、
全養蚕連会長賞、茨城県蚕糸
連盟会長賞の四つの賞を獲得
されました。鷺野さんが授賞
の対象となった経営の内容は
次のとおりです。
桑園面積 百七十六アール
掃立回数 六回
掃立数量 三千三百六拾
農業総収入 四百九十九万七千円
養蚕収入 三百九万七千円
善意銀行へ次のかたが預託
されました。
小高の久大保卓蔵さんは、
小高長生会へ一万円。
宇崎の宮内源衛さんは、宇
崎子供会へ二千元。
宇崎の小峰新治、同海老沢
宗衛、四鹿の久保田信之、青
沼の内山繁さんは、麻生第一
中学校へ体育館ステージ用垂
幕
杉平の石毛幸七さんは、麻
生第一中学校へ朝礼台
矢幡の岩倉春男さんは、麻
生第一中学校へ優勝楯、優勝
盃
緒沢子供会は、福祉事業へ
一千六百二十円
麻生の新橋確さんは、蒲縄
老人クラブへ五千元
岡の箕輪正治さんは、岡老
人クラブへ一万元、岡子供会
へ二千元
岡の宮崎隆之助さんは、岡
の寿福寺及び集会所へ食卓八
個
岡の箕輪文男さんは、岡老
人クラブへ三千元
麻生の諏訪亀太郎さんは、
蒲縄老人クラブへ五千元
麻生の太田すゑさんは、生
活の困っている人へ七千四百
八十円
理解の上ご協力下さいますよ
うお願いします。
なお調査内容については、
すべて法律により秘密が保護
されているし、また統計資料
以外の課税などの目的に使用
されることはありませんので
安心して調査にご協力下さる
よう重ねてお願いいたします。

五月一日は

商業統計の日

商業統計調査は昭和二十七
年以来二年ごとに実施してい
る指定統計調査で、今回は第
十二回の調査にあたります。
これは全国の商品販売活動の
実態や商品の流通等について
業種別、規模別等に把握しよ
うとするもので、これらの調
査の結果は、将来の商店経営
方針をたて、わが国商業の健
全な発展を図るための資料と
して役立てています。
調査対象となる卸売業、小
売業(飲食店を含む)等の各
商店にはご多忙のところ誠に
恐縮ですが、調査の趣旨をご

日曜日の

郵便配達休止

全国各主要都市などの郵便
局で、日曜日の郵便配達を休
止していましたが、このたび
麻生郵便局および行方郵便局

四月は河川美化月間です

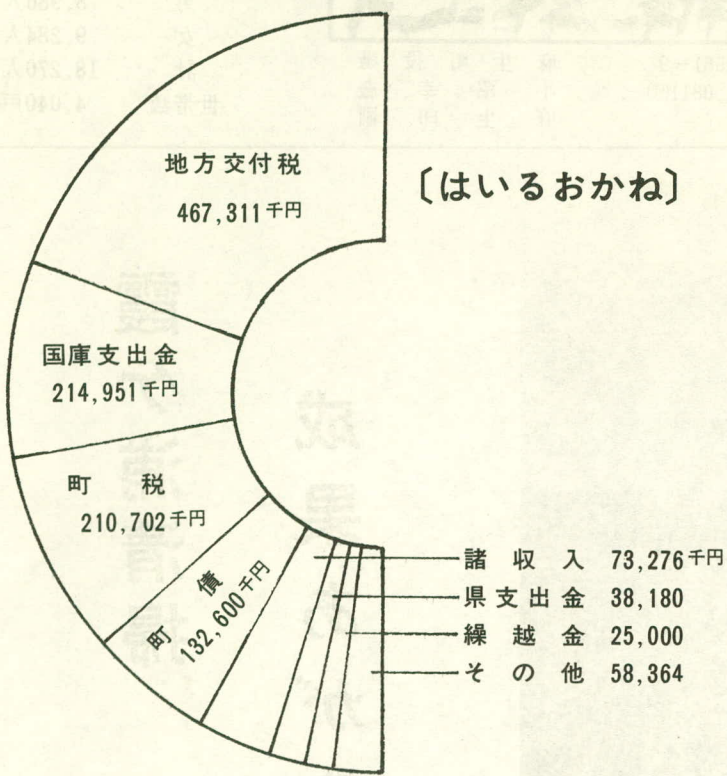
私たちの川や湖を

美しく清潔に育ててゆきましょう

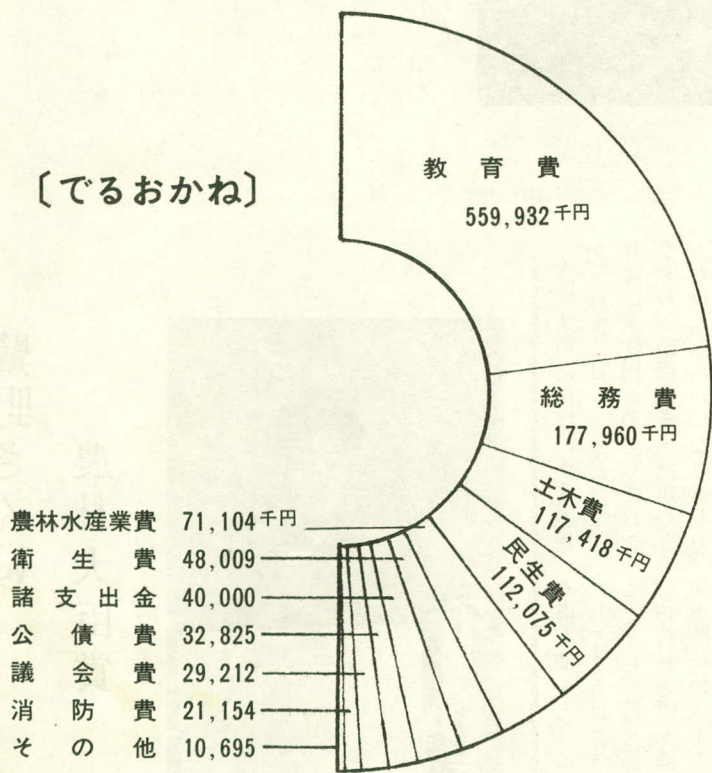


ずいぶん大きなゴミも捨ててある。これらはお互いの注意
ひとつできれいになるだろう。〈天王崎駐車場にて〉

昭和49年度
一般会計 収支予算額12億2千38万4千円



〈S 49. 一般会計予算のグラフ〉



特別会計

国民健康保険事業勘定は、三億二千八百六十二万二千円であり、うち保険給付費は二億九千五百六十八万二千円、予算額の九二割を占めています。これは医療費の増額と受診率四九・四八割となっているため、公平委員会会計の収支予算額は十九万五千円です。

行方小学校防音校舎建設費一億五千五百一十一万四千円、麻生小学校建設費一億六千六百八十万四千円、大和第一小学校用地取得関係経費千五百五十万円の計上しました。

施設としてポンプ三台、貯水槽十一基、機庫一棟など八百二十八万四千円を計上しました。

諸支出金

公共用地先行取得として水田取得費三千万円、造成工事費八百万円を計上、また、国保事業勘定に対し二百五十万円の繰出金を計上しました。

国保税については三千八百七十二万円の増額（四三・七割）を余儀なくされており、これは、世帯当り三万九千八百三十七円、一人当り九千四百四十四円を負担となっており、国民宿舎白帆荘会計は、収益的収入一億八百七十六万円、資本的支出は三百二十三万円を見込んでいます。

49年度予算

行方小・麻生小の建設

本年特別土地保有税一千八百万円見込む

第一回定例町議会が三月十一日から十八日まで行なわれ、昭和四十九年度麻生町の一般会計、特別会計予算が原案どおり可決されました。一般会計予算は総額で十二億二千三百十八万四千円となり、前年当初予算八億三千六百十三万五千円より四億六千七百五十五万九千九百五十三円増額しています。

予算の概要

校の敷地購入が四十八年度に完了し、造成工事の見込みもついたため、四十九年度は行方小学校防音校舎、麻生小学校校舎の第一期建設事業費を計上しました。

しかしながら引き締め政策下にある現在、さらに実施面を縮小せざるを得ない状況となることもあり得るので、経済情勢の推移に応じ、弾力的な運営を行ない健全かつ効率的に効果をあげるよう努力をしなければなりません。

歳入については、道路舗装寄附の減少により減額となりました。歳入については、道路舗装寄附の減少により減額となりました。

歳入について

議会費

人件費等の増加により前年度より二五・六割多い二千九百二十一万二千円を計上しました。

総務費

国体記念事業費三百九十万円、各選挙執行費五百十八万三千円、自治会館取得に要する負担金五十一万二千円等を計上しました。

民生費

老人福祉関係では老人家庭奉仕員を置く外老人健康診査を行ない、また、敬老会、老人クラブに対する交付金等を計上しています。

農林水産業費

近年農業をとりまく情勢はきびしく、米の生産調整、農産物の価格の変動・流通の問題等、その体質改善が強く要請されています。

これまでの補助、負担金等の外、本年度より鯉養殖事業資金貸付金の利子補給を行ない、昭和五十二年までに毎年利子補給の債務負担をすることになりました。

保育所児童に対する委託料

自動車税は五月に一回

税法の改正によって、昭和四十九年度から自動車税（県税）の納税は年に一回となり、納期は五月二十一日から三十一日までとなりました。

衛生費

医療原材料の値上げ分を見込むとともに、麻生町外一町一村ごみ処理組合負担金として千二百四十一万六千円、下水道調査費四百八万円を計上しました。

確定申告を

忘れていたときは

確定申告をしなければならぬ人が、忘れて申告をしなければならぬときは、申告期限後で

商工費

商工会及び観光協会に対し、応分の補助を行なうもので、主として経常費であり、総額は九百五十六万七千円です。

土木費

も確定申告をすることができ、この「期限後申告」は、税務署から決定の通知があるまでは申告できませんが、なるべく早く申告した方が有利です。

期限後申告をしないで税務署から決定の通知を受けると、税額の一〇割の無申告加算税がかかりますが、調査を受ける前に申告をしたときは、無申告加算税は税額の五割です。

交通災害

共済に加入しよう

交通災害共済制度は、茨城県民交通災害共済組合規約に

商工費

県営道路関係事業負担金六百万円、四トン車購入費九十七万円、橋門小高地内道路改良を含む道路新設改良費三千三百五十四万円、大和一号線については国庫補助事業として改良工事を行なうこととしました。黒郷川（大字蔵川）改修工事に三百二十四万円を計上しました。

消防費

公債費

施設としてポンプ三台、貯水槽十一基、機庫一棟など八百二十八万四千円を計上しました。

教育費

諸支出金

行方小学校防音校舎建設費一億五千五百一十一万四千円、麻生小学校建設費一億六千六百八十万四千円、大和第一小学校用地取得関係経費千五百五十万円の計上しました。

特別会計

国民健康保険事業勘定は、三億二千八百六十二万二千円であり、うち保険給付費は二億九千五百六十八万二千円、予算額の九二割を占めています。これは医療費の増額と受診率四九・四八割となっているため、公平委員会会計の収支予算額は十九万五千円です。

第一回定例町議会

助産費が二万円に

麻生小代替地内の町道廃止

第一回定例町議会が三月十一日から十八日までの八日間の日程で開かれ、昭和四十九年度一般会計予算など二十議案が原案どおり可決されました。

〈議案第24号〉
麻生町議会会議規則の一部改正について

議長が受理した請願で未だ議案に付されていないものを、請願者が取り下げの場合は、

〈議案第14号〉

麻生町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

教育委員の報酬月額を七千五百円とするなど各特別職の報酬を引き上げたものです。

〈議案第15号〉
麻生町手数料条例の一部を改正する条例

土地や本籍居住に関する証明などの手数料を引き上げたものです。

〈議案第16号〉
麻生町国民健康保険診療所使用料等条例を廃止する条例

れを充実、大きくしたものを、また、四HC等の実績研究等の発表の場を設けていただければ農業振興のPRにもなる。

〈議案第17号〉
麻生町国民健康保険特会計条例の一部を改正する条例

収入のうち「診療施設事業収入」を削るものです。

〈議案第18号〉
重要な公の施設に関する条例の一部を改正する条例

重要な公の施設のうち「麻生町国民健康保険診療所」を削るものです。

〈議案第25号〉
麻生町国民健康保険条例の一部を改正する条例

被保険者が出産したときは助産費として二万円が支給されることになりました。

〈議案第23号〉
町道路線の廃止について

麻生小学校代替地内に有る町道七路線、延長一千五百八メートルが廃止されたものです。

〈議案第19号〉
昭和四十九年度麻生町一般会計予算

〈議案第20号〉
町道路線の認定について

〈議案第28号〉
町道路線の廃止について

麻生小学校代替地内に有る未認定町道三路線延長二百二十一メートルを認定してから廃止したものです。

また、大和第四二五号線(杉平から小牧)の改良によって幅員二メートルを計画しており、天王崎へのプールについては霞ヶ浦総合開発のなかで検討してゆきたい。

〈議案第27号〉
町道路線の認定について

〈議案第28号〉
町道路線の廃止について

麻生小学校代替地内に有る未認定町道三路線延長二百二十一メートルを認定してから廃止したものです。

また、大和第四二五号線(杉平から小牧)の改良によって幅員二メートルを計画しており、天王崎へのプールについては霞ヶ浦総合開発のなかで検討してゆきたい。

〈議案第29号〉
昭和四十九年度麻生町国民健康保険特別会計予算

昭和四十八年度麻生町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、六千五百五十六万五千円を追加し、歳入歳出それぞれ十億七千三百八十八万八千円となりました。

〈議案第30号〉
昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

〈議案第31号〉
昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

〈議案第32号〉
昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

〈議案第33号〉
昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

昭和四十八年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算

〈議案第34号〉
麻生町振興基本構想について

麻生町振興基本構想について

麻生町振興基本構想について

麻生町振興基本構想について

麻生町振興基本構想について

麻生町振興基本構想について

麻生町振興基本構想について



行方小学校敷地の造成工事
後方は現在の行方小学校

一般質問から

A議員 ①天王崎プールのその後について

②天王崎駐車場は、駐車場目的で専用許可を取っているため、すぐここに造ることはできない。天王崎湖岸については、水ガメ化の提防と行方漁協不同意ということもありそのままになっている。

③町の振興計画は場あたりすぎでは?

④町の十か年振興計画が現在つくられており、近く振興協議会を開催するので、その中で検討してゆきたい。

⑤農業後継者の対策について

⑥町民の生活向上について

⑦町民の健康増進について

⑧町民の文化振興について

⑨町民の環境整備について

⑩町民の交通安全について

⑪町民の防災対策について

⑫町民の福祉向上について

⑬町民の教育振興について

⑭町民のスポーツ振興について

⑮町民の国際交流について

⑯町民の観光振興について

⑰町民の産業振興について

⑱町民の雇用創出について

⑲町民の所得向上について

⑳町民の生活安定について

㉑町民の社会福祉について

㉒町民の文化芸術振興について

㉓町民の環境美化について

町振興基本構想きまる

診療所三千七百万円で売渡す

第三回臨時町議会が四月一日開催され、三議案が原案どおり可決されました。

審議に先立ち「診療所財産管理及び処分特別委員会」より次のとおり報告がありました。

と協議しながら県に働きかけを計画しており、天王崎へのプールについては霞ヶ浦総合開発のなかで検討してゆきたい。

①大和四二五号線(大字小牧)は部分的に低いので今一度検討を。

②廃水工事が大事で、四十九年度は百三十万円を計上している。この舗装工事は、地元の労働力奉仕を得て町の直営で実施する。

③土地改良事業については、物価高の折でもあり町が一丸となって取り組んでもらいたい。

④これまで、にがい経験もあり町直営はむずかしいが、協力についてはやぶさかでない。

⑤住宅からの汚水で農地の被害は大きくなっている。町で何らかの処置を。

⑥畜産公害については、自主的に処分するよう指導(バキュームカー等)している。

⑦診療所の土地建物とも小沼澄先生に七か年賦払いとして売却するとともに、大和診療所については建物は当分の間そのまま存続することに満ちた。

麻生町振興基本構想について

麻生町振興基本構想について

麻生町振興基本構想について

麻生町振興基本構想について

老人医療の受診方法がかわる

国民健康保険に加入している方は、この四月から次の二種類の書類を医療機関の窓口へ提出して受診してください。

一、保険証

二、④老人受給者証

国民健康保険以外の保険に加入している方は、今までどおり次の三種類の書類を医療機関の窓口へ提出してください。

一、保険証

二、④老人受給者証

三、④老人医療費請求書

「④医療福祉受給者証」をもっている方は、従来どおり保険証、④医療福祉受給者証、④医療福祉費請求書を医療機関の窓口へ提出してください。

七月からは、市町村役場から交付される新しい受給者証で受診してください。(毎年七月には、④老人医療受給者証の色や番号が変わりますので注意してください。)

昨年十二月から、通勤途上の災害についても業務災害に準じて給付が受けられることになりました。未加入の事務所はこれを機会に洩れなく加入し、また、保険関係成立しない。

なお、申告書記載の困難な場合は、受理相談会を各地区ごとに次のとおり開かれていますので、おいでになり相談をうけてください。

④年度更新説明会

四月二十四日(二時三十分)四時

潮来町商工観光会館にて

④申告書受理相談会

五月十三日(二時)三時

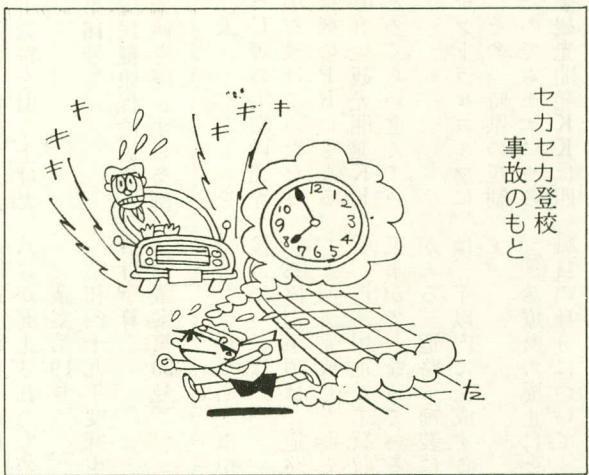
麻生町商工会にて

労働保険料は

五月十五日までに

商店や事務所などで、五人以上の従業員を、それ以外の事業場は一人でも従業員を使用している、労働保険に加入しなければならぬことになっています。

昨年四月一日から本年三月三十一日までの確定保険料と本年四月一日から本年三月三十一日までの概算保険料を計算し、五月十五日までに申告納付してください。



セカセカ登校
事故のもと

水郷短歌会へ入会を 初心者も歓迎

終戦直後の混乱時代に生れたこの会は、三十一音を通じて心と心の琴線に触れあおうとして成長してきました。

短歌会は毎月第二土曜日の午後一時から下瀬会館で例会会を開いています。

入会を希望される方はあなたがおつくりになった短歌二首を筆輪徳二郎方(麻生町大字岡)へ、はがきで送稿してください。初心者も歓迎しています。資格制限はありません。会費は一か月三百円です。

短歌

声のどく処にわれを待たしめて
深夜の雨と孫はいりぬ
古い病みて息子の許にゆきしと
空家の庭に猫柳白し
前むきて暮せと子等に教えつつ
己れは過ぎ来し過去にこだはる
柿へたのあまたつきたる枝の先
つつく鳥あり昼静けきに
老い来しか夕べのあかりひきつけて
新聞活字に眼をこらす

八十二の旅の姿を残さんと
那須の湯宿でカメラに収まる
湯浴みしつ詩吟を習ひある妻に
続きて幼き孫の声を
偕楽園の丘を包みて白妙の
ひらけぬ梅につもる淡雪
うららかに上着を脱げば鶯の
声しきりなる山里の春

戸籍の窓口

へおめでた

氏名	世帯主	住所	飯田 純子
吉崎 貴史	友 啓	富田 金田 弥生	昌二
吉崎 清美	清	宮川 潤子	孝 瑤
菅原 由夏	菅沼かひの	谷田川和代	勝 海
菅原 升子	"	山野 寛昭	仁 石
"	"	東山 栄二	好 男
"	"	"	"

麻生町振興基本構想(要旨)

一、基本構想の目標

この計画は、住民優先を基調とし、明るく豊かな、しかも公害におかされない町づくりに進めることを主眼とし、本町発展の基本的方向を明らかにすることを目標とする。

(長期計画の目標は昭和六十年度とする。)

二、将来の指標

(1)人口

計画最終年の人口を三万人とし、第一次産業従事者五千五百人、第二次産業従事者四千八百人、第三次産業従事者五千二百人となることを予想

④金融機関の協力を求める

工業 道路網の完備、路面整備等が進行すれば、本町中心部周辺は内陸型工業立地条件として最適地帯である。

この際特に注意しなければならぬことは、大気汚染と水質汚濁による河川、湖沼の汚濁をもち、麻生町振興整備計画書に規定された排水処理施設をもち、精密な排水処理施設をもち、規制、基準に合致し安全性が立証されない限り設置すべきでない。

④漁業 この時点で漁業従事者の歩むべき道を指導すること、非常に困難である。

幸いに霞ヶ浦・北浦の水質は重金属におかされてはいない事である。流入する汚濁水の物理的処理を主とし、化学的処理法に基づいて浄化され得るならば、トロール舟による

上のゴルフ場の設置は土地利用の見地から認められない。

三、基本施策の大綱

行方台地縦貫道路が完成し、白浜と大野村掛崎の架橋が実現し道路が通じ、東関東自動車道が行方台地を縦貫する態様が明らかになった時点で、この基本施策も大きな変化をみなければならぬ。

(1)基本的条件を整備するための構想

新都市計画法により都市的構造の整備するとともに農用地指定地域内の農業振興の拡充を図る。併せて水辺地域の環境保全に万全を期す。

なお、霞ヶ浦、北浦及び河川の汚濁化を防ぎ、上位計画と相まって上下水道を完備する。

(2)生活基盤を整備するための構想

現市街地で最も困窮している問題に道路の狭隘、下水処理の不徹底、井戸水の水質不良及び洪水、公園、緑地、駐車場の不備不足があげられる。これらを解消するために都市計画を実施し、都市的施設を拡充し、町民が清潔で健康的な調和ある生活を営めるよう対策を講じたい。

(3)教育文化を高めるための構想

麻生小学校々地の狭隘と老旧校舎の理由により、旧麻生高校敷地に移築する工事、行方小学校防音校舎の移築工事等は目前にした事業であるが、木造校舎も、耐火耐震の必要を、中学校については、(5)産業を振興するための構想

行方台地縦貫道路により国道六号線と鹿島産業道路に結ばれ東関東自動車道が行方台地を縦貫される将来、本町中央台地部の発展はいなめない事実であろう。

そこには、必然的に新市街地・工業団地・商業住宅団地等が開発される。また、霞ヶ浦・北浦の湖岸では観光、娯楽産業を受け持ち、農業経営には、農用地の線引きにより畑作に特種作物の集団化を図り、湖面に近い水田は土地改良により良田化する。

両湖の水質悪化により当分の間漁業の発展は害されるが、霞ヶ浦総合開発計画による実施がされ得るならば、A水域の水質保持も出来るので、とる漁業からつくる漁業への道がひかれるのである。